

Title	島谷亮輔著 現代米国外交論
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1916
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.10, No.5 (1916. 5) ,p.740(154)- 741(155)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19160501-0154

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

批評と紹介

島谷亮輔著『現代米國外交論』

大正五年二月公民同盟出版部發行
四六版三百二十一頁定價金一圓十錢

本書は最近に於ける米國外交、殊に現大統領
ウイルソン氏の對外政策を論評せるものなり。
由來米國は聯邦制度の下に在りて中央政府の威
力は諸州の人民を屈服せしむるに不充分なるの
憾あり。加ふるに國民は今日種々雑多の異分子
を包含せるが爲めに、多數黨に依りて選出せら
れたる大統領と雖も、其施政方針が特種地方又
は階級の利益と衝突することあらば、往々猛烈
なる反對を受くることあり。尤も内政問題に就

きては大統領選舉の際公表せし自黨の政綱に準
據して國政を調理する以上は、縦令一部の反抗
に遭ふとも、一般國民の後援を有するを常とす
れども、時々刻々發生する不測の外交問題に關
しては一定の標準なきを以て、之に對する大統
領の解決手段が其相手國の人民に依りてよりも
寧ろ自國人に依りて盛んに批判論議せらるゝこ
と稀ならず。従つて人心の收攬に對して多大の
注意を拂はざるを得ざる大統領の外交方針は往
々國際間の道義若しくは米國永遠の利益を犠牲
として定めらるゝに至るなり。されば、米國の
外交を知り之を語らんと欲する者は先づ其の政
體と民情とを知悉せざる可からず。

著者は最近米國に遊び、數ヶ年間コロンビア
大學に於て國際公法、米國憲法、米國外交史等を

研究し、造詣する所少からず。其著者にして本
書を著はす、洵に其人を得たりと謂つ可し。讀
者一度び本書を緋かば、米國に於ける複雑なる
對内的外交政策はパノラマの如く展開せられ、
曾て讀者の懐きたる米國の外交に關する疑問の
多くは忽然として氷釋せらる可し。行文又平易
流暢にして、且つ一種の雅致を有せり。加ふる
にウイルソン、ルーズベルト、ブライアン三氏
の寫眞を以て卷頭を飾る外に、卷末には附録と
して米國外交年表、北米憲法の譯文、日米通商
條約、米國軍備擴張案等を載せ、讀者の參考に
供したり。

惟ふに稍々米國の實情に通せる讀者はルー
ベルト並にウイルソン兩氏の人格、手腕、功績
に對する著者の見解の總てに必ずしも裏書せざ

る可く、又米國近代の外交に關する著者の論評
必ずしも悉く正鵠を得たるものにあらざる可き
も、外交事情を明快に説述せる點に於て本書は
米國の近狀を知らんと欲する者に對しては一好
參考書たるを失はず。蓋し本書の長所とする所
は此に存せり。此意味に於て吾人は本書を推舉
するに躊躇せず。